

# DOYU IBARAKI



発行:茨城県中小企業家同友会  
〒310-0851 水戸市千波町1918 茨城県総合福祉会館3階  
Tel:029-243-8230  
Fax:029-243-7225  
Mail:info@ibaraki.doyu.jp

コロナに負けるな!! 会員企業の取り組みをご紹介します!



## 「note」は中小企業経営者の 新しい情報発信プラットフォームに!?

コロナ禍において、リアルでの商談や営業活動が制限をされ、新たにWEBでの集客を検討されている方は少なくないと思います。

昨年11月に日経トレンドが発表した「2020年ヒット商品番付ベスト30」に「鬼滅の刃」や「Zoom」と共にランクインした「note」をご存じでしょうか?

「note」は文章や写真、イラスト、音楽等を投稿出来るメディアプラットフォームです。コンセプトである「つくる、つながるとどける」の通りに、自己表現から読者との交流が出来る、ブログとSNSの良いところを合わせたような仕組みが特徴です。

前述の「2020年ヒット商品番付ベスト30」の選考基準は、売れ行き・新規性・影響力の3つで、「note」はコロナ禍において新たな自己表現と交流の場として利用者が6300万人と超急上昇し、企業マーケティングの場としても欠かせない存在として選定されました。

企業としては、販売している商品について、開発を行った思いや、途中に行ったエピソードをストーリーとして掲載することで、商品の深い魅力に気が付いてもらえるキッカケづくりになります。また、経営者が創業時からの出来事や普段生活の中で感じる事を掲載することで、自社のブランディングを知っていただくことも出来ます。

茨城同友会の会員で既にnoteを始められている方の例をご紹介します。

㈱日青工業の青木恵之さん(ドラゴン支部)が開発・販売している、金属製蝶ネクタイ「Metal Butterfly」。そこに込められた思いや、アフリカのコンゴ民主共和国にいる「サプール」と呼ばれるお洒落な紳士の方々に会うために、クラウドファンディングを計画し現地に向かった事などを投稿しています。ご自身が好きなアフリカ音楽についても投稿し、それをキッカケにJ-WAVEの番組に「アフリカ音楽キュレーター」として出演され、新たな展開につながっています。

また㈱スタジオデンの田山進一さん(日立支部)は、ライターの実力を活かした「自分史」の制作方法を投稿しています。ストーリーとして投稿を始めたのは1月からですが、既に読者がついていきます。

コロナ禍で何かを始めようとしている方も多いと思います。まずは投稿された「note」を読んでみてください。そして自己紹介、自社の事業、歴史、ビジョンを投稿してみるのはいかがでしょうか?

(広報委員会 白土 正博)

(日立支部 田山進一さん)



### 金属製蝶ネクタイ誕生のきっかけ。

♡ 13

アオキシユキ  
2020/08/10 14:56

今回は「Metal Butterfly」が誕生した経緯をお伝えしたいと思います。

私達がなぜ金属で蝶ネクタイをつくることになったのか?

そしてなぜ蝶ネクタイがサプールと関係しているのか?

皆さんからご質問を頂くことが多かったトピックでもあったので、これからお話しする内容は「Metal Butterfly」と「サプール」に関する私たちの物語です。



(ドラゴン支部 青木恵之さん)



### 伝わる自分史の作り方~プロローグ~

♡ 7

田山進一 | ライター・編集者  
2021/01/03 15:21

はじめまして、田山進一と申します。茨城県日立市で編集プロダクションを運営しています。ライターとして、あるいは編集者として、たくさんの書籍や雑誌、ムック本などの制作に関わってきました。紙媒体だけではなく、編集プロダクションとしての編集力を活かしたホームページ制作や、ポータルサイトなどの執筆も行っていきます。

# 12月例会報告

## 日立支部



12月2日(水) 日立地区産業支援センターにて・zoom同時配信  
報告者:掛札 武志さん同会社アースウィンド環境企画 代表社員  
『新章アースウィンド環境企画 紡ぐ会社の事業定義』

日立支部12月例会は、合同会社アースウィンド環境企画代表社員、掛札さんを迎え、報告テーマ「事業定義」での報告をしていただきました。自社の事業の内在しているものを顕在化し、自社の強みとアースウィンドにできることを明確にしこれからのビジョンを作ることで、事業定義の衛生環境整備業であり、もっている経営資源を有効活用すること・企業連携を強化することで業界の可能性を見つける報告をお聴かせいただきましたし (レポート:高橋 秀幸さん)

## 県央海浜支部・水戸支部合同



12月23日(水) 茨城県総合福祉会館にて・zoom同時配信  
報告者:山野 和哉さん 有限会社やまの湯 代表取締役  
『～永続企業づくりへの挑戦！～事業承継のあり方を考える』

水戸支部・県央海浜支部12月合同例会が23日(水)にリアル&ZOOMにて開催されました。

今回の発表者は(有)やまの湯・山野和哉さん。テーマは、永続企業づくりへの挑戦！です。経営者であれば誰もが避けて通れない事業承継について、山野さん自身の経験を話して下さいました。経営者にとって事業を存続させていくことは最大の使命、大切なことは

- ①自社の理念を基に人や地域に必要とされる会社を目指すこと
  - ②必要とされ続けるために後継者候補や社員と理念を共有してお互いに成長すること
  - ③そして滞りなく後継者へ承継すること
- それが社員・お客様・地域に幸せをもたらします。  
コロナ禍であっても歩みを止めることなく、覚悟をもって強い会社作りに邁進して行きましょう！

(レポート:伊藤 友之さん)



## ◇12月度新入会員のご紹介◇

### 水戸支部

和田 幸哉さん  
(株)アプリシエイト  
代表取締役



どうぞよろしく  
願います!!

### 会員は辞書の1ページ

茨城同友会会員数

296名

1月12日理事会時点

支部	日立支部	県央海浜支部	水戸支部	南西支部	県西支部	ドラゴン支部
会員数	37	27	110	64	27	31